




## 「北極圏鉄道紀行 (2)」

切符はスウェーデン語で、Biljett (ビリヤットウ) といいます。今回の切符はこんな感じでした。切符の買い方は、「変更・払い戻し可」「変更は可・払い戻しは不可」「変更・払い戻しとも不可」の3種類があります。もちろん一番安いのは3番目の買い方で、だいたい半額で購入できます。しかし、今回のように乗れないと、そのまま無効になってしまいます。

Personlig <b>BILJETT</b>	Gällivare stn - Narvik	
Biljetten gäller endast tillsammans med giltig ID-handling		
Giltig: 2016-01-03	Resenär: CHIHIRO TANAKA SJ Prio Vit	

Biljettnummer	QYA3691L0001				
Kategori	Vuxen				
Gällivare stn - Narvik 2 kl SJ					
Avgång	Ankomst	Tåg	Vagn	Plats	CIV<1174>
08.15	12.36	94	61	25	Fönster Plats med bord



014 272 262 824 054 327 704  
Resan kan inte ombokas/återbetalas

これが、「スウェーデンの鉄道切符」です。区間、発車時刻、到着時刻、列車番号、号車番号、座席番号が指定されています。2等車ですが、270キロ乗って指定席料金込みで、120 クローネ (約 1800 円) は安いですね。私は、S J プリオ (スウェーデン国鉄のカード) を持っているので、ネットでも買えます。



2等車の入口です。ステップが凍っていることがあるので注意！途中駅で分割併合があるので、号車によって行き先がちがうことがあります。しかし、号車ごとに行き先が表示してあるので、間違えることはまずありません。



2等車の座席です。テーブル付の座席、グループ向けの個室、ペット同伴の座席など、いろいろ選べます。



こちらは2等寝台車。ストックホルムからの夜行列車なので、寝台車も連結しています。3段寝台が向い合せになった6人部屋で、日本の昔のB寝台によく似ています。





一等寝台は、料金に食事が含まれている切符もあり、ちょっと豪華な食堂車を利用できます。(前ページ)



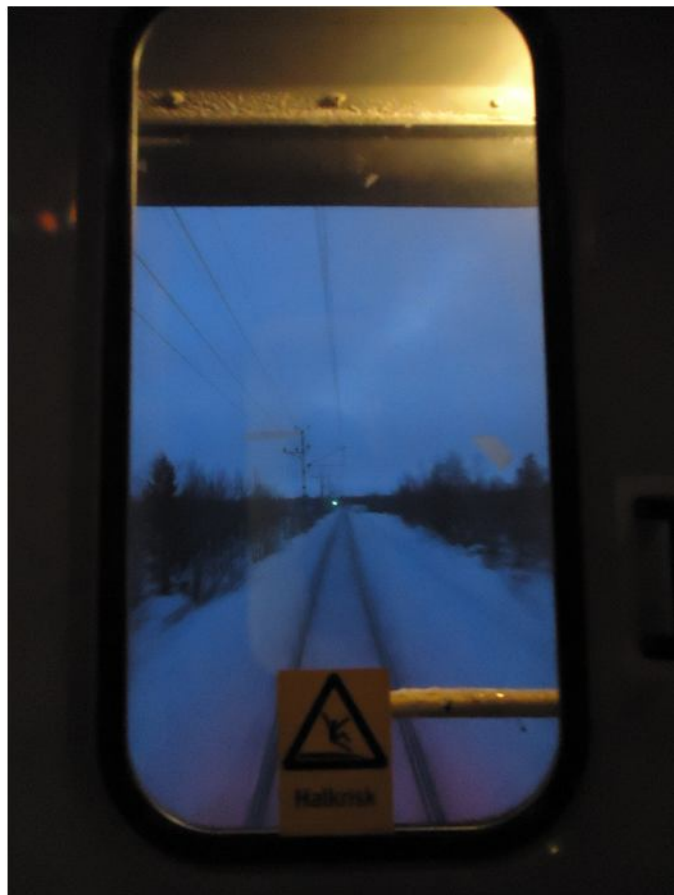
こちらは「ビストロ・カー」(軽食堂車)。長距離列車なので、車内でコーヒーや軽い食事ができます。



食堂車といっても、売店で買ったサンドイッチや飲み物を、テーブル付きの座席で食べるといった程度です。日本の急行列車に連結されていた「ビュッフェ」に似たスタイルです。



食堂車は、結構賑わっていたようです。



乗った車両は、列車の最後尾でした。さすがにオープン・デッキではありませんでしたが、窓越しに後方展望も楽しめました。冬の北極圏をひたすら走り続けます。少しずつ周囲も明るくなってきました。



列車はキルナに近づいてきました。ここにも大きな鉄鉱石の鉱山があります。キルナ駅から車で20分ほどの場所に、ユッカス・ヤルビという湖があって、その湖畔に有名なアイス・ホテルがあります。氷だけで作られたホテルです。この列車には、このホテルに行く人も大勢乗っています。キルナは、スウェーデンの北極圏最大の街で、臨時で成田から直行便が飛ぶこともあります。(つづく)